



青南だより

令和3年6月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<豊かな自然を生かして>

青南幼稚園は、多くの生き物が暮らす都会のオアシスです。わくわく池ではオタマジャクシやヤゴ、みかんの木にはアゲハチョウのアオムシなどを見付けては、子どもたちが日々命の営みを体で感じています。茎ブロッコリーを片付けていたときにモンシロチョウの幼虫を見つけた年長児が、他の学年に届けて、どの学級でも幼虫がサナギになり、しばらくしてチョウに変身する過程を見ることができました。どの子もいい目をしていて、よく虫や花などを見付けるようになっていきます。

<命の営みを通しての大きな学び>

池で見つけたギンヤンマのヤゴを飼い始めた年長の子どもたちは、餌をどうするかをみんなで相談しています。調べてみると生きた餌しか食べないらしい…。オタマジャクシはいるけれど、部屋でも飼ってきたオタマジャクシを餌にするのはかわいそう、でも餌がなければヤゴが死んでしまって羽化する様子も見られない…と、小さな命と向き合いながら、貴重な葛藤体験をしています。今年の園内研では、「小さな発見から豊かな経験につなぐ保育の在り方」について研究していきます。

<新しい形の青南まつり>

青南まつりは、かつて保護者の皆さんが子どもたちのためにと始まった行事です。ここ数年は、年長児が作った遊びコーナーと保護者のお楽しみコーナーを合わせて、地域の未就園児親子も招いていました。昨年は、年長のごっこ遊びを広げて、年少・年中児が遊びに来る小さなおまつりを行いました。今年度は、PTA役員やまつり委員の皆さんが、新しい参加の仕方やまつりの前後も楽しめる工夫をしてくれています。今後、いろいろとお知らせしていきますので、どうぞ楽しみに…。

・・・水無月（みなづき）・・・

ぼうしゅ

芒種（5日）… 紫陽花が色付き始めます …

げし

夏至（21日）… 水遊びが気持ちいい季節です …

今年もバラ門脇のアジサイが色付き始めました。数年前の主任の先生がプランターに挿し木をしてくれたものが、根付いて大きく育ってきたものです。去年とは少し色合いが違っているように感じるの気のせいでしょうか。ユスラウメは、数は少なめでしたが収穫して年長児が味わい、続いてアンズが色付き始め、収穫を楽しみにしています。初夏の実りを味わうことができる青南の豊かな自然に改めて感謝ですね。

青南の
二十四節気



アオムシはこのみかんの葉っぱが大好きだよ



サナギから生まれた瞬間を目撃！



ヤゴの羽化を見たいけど、どう飼おうかな



園内研では自然を窓口に保育の本質を学びます



去年の小さなお祭りはこんな様子でした・・・